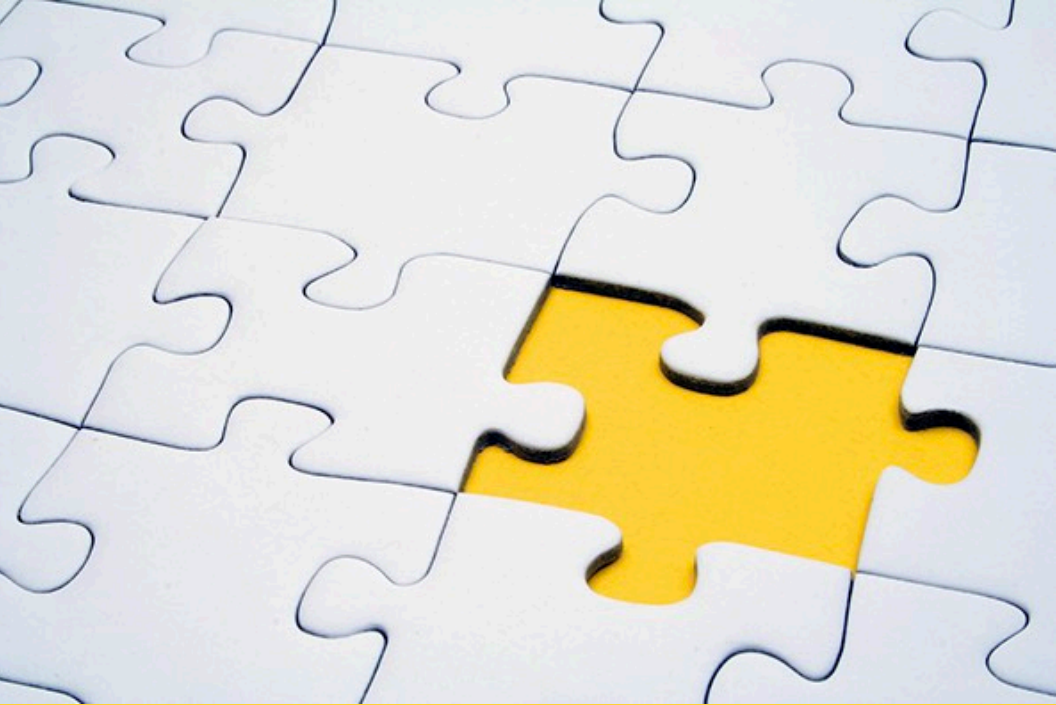




本当に使える補助金ラ ンキング**TOP 5**

個人事業主・社員5名以下の会社の
ための補助金ランキングTOP 5

LeadClover-社労士事務所- 清永 仁

この資料は、毎日がんばる小さな会社やお店、フリーランスの皆さんを応援するため、国や自治体を用意している「お金のサポート制度（補助金・助成金）」の中から、特に使いやすく役立つものを厳選して紹介するものです。

【ランキングの読み方】

- **採択率(受給しやすさ)：**申請して認められる可能性。
★が多いほど通りやすい傾向。
- **対象業種：**どんな種類の仕事で使えるか。
★が多いほど多くの業種で使える。
- **使える経費の幅：**どんなことにお金を使えるか。
★が多いほど使い道が広い。
- **補助率・上限額：**使ったお金の何%、最大いくらまでサポートしてもらえるか。
- **手続き難易度：**申請の準備や書類集めがどれくらい大変か。
★が少ないほど簡単。

1位 小規模事業者持続化補助金

採択率： ★★★☆☆

（しっかり準備すれば合格できる難易度）

対象業種： ★★★★★

（ほとんどの業種が対象！）

使える経費の幅： ★★★★★

（かなり幅広い！販促費、HP作成、店舗改装など）

手続き難易度： ★★★☆☆

（事業計画書の作成がポイント）

補助率/上限額： 補助率_2/3（使った費用の2/3を補助）

上限額_通常50万円、最大250万円 ※枠による

小規模事業者持続化補助金は、小さな会社やお店が新しいことにチャレンジする時のお手伝い（広報費など様々な活動を含む）をしてくれる補助金です。

例えば、

「新しいお客さんに知ってもらうためにチラシを作りたい」

「インターネットで商品売るためにホームページを新しくしたい」

「お店の中を少し改装してお客さんが入りやすくしたい」

「仕事がもっと早く終わるように新しい機械（パソコンやソフトなど）を導入したい」

といった、「売上アップ」や「仕事の効率化」につながるチャレンジを応援して補助をしてくれます。

ポイントは、**使える経費の範囲がとても広いこと！**

また、**個人で仕事をしている人（フリーランス）から、社員が数名の小さな会社まで、多くの人が対象になる一番人気の補助金です。**

※従業員が5人以下（商業・サービス業）または20人以下（製造業等）なら、ほぼすべての業種が申請できます。

補助の例として、もしあなたが広報費・サイト作成費用等に75万円使ったとすると、そのうちの2/3を補助してくれます。

（50万円が補助金としてもらえ、実際の手出しは25万円）

申請には「経営計画書」と「補助事業計画書」の提出が必要ですが、**地元の商工会議所や商工会が無料でアドバイスしてくれるのでぜひご活用ください。**

年に何回か募集があるので、タイミングを逃さないようにしましょう。

-おすすめの理由-

使える経費＋対象業種の範囲がとにかく広いので誰でも使いやすく、さらに補助率も2/3と高いのがTOP 1 の理由。

2位 IT導入補助金

採択率：★★★★★

（しっかり条件を満たせば、かなりの確率で採択されます）

対象業種：★★★★☆

（多くの業種が対象）

使える経費の幅：★★★☆☆

（ITツール導入に限定）

補助率・上限額：補助率_最大1/2～3/4

上限額_5万円～450万円 ※枠やツールによる

手続き難易度：★★☆☆☆

（ITベンダーの協力が必要な場合あり、比較的易しめ）

これは、「会社やお店の仕事を、パソコンソフトやインターネットサービス（ITツール）を使って、もっと楽に、もっと便利にするためのお手伝い」をしてくれる補助金です。

例えば、

「お金の計算を自動でしてくれる会計ソフト」

「お客さんの情報を管理するソフト」

「スマホで支払いができるレジ（POSレジ）」

「面倒な作業を自動化するツール」

などを導入するときに、その費用の一部を国がサポートしてくれます。

「IT」というと難しく感じるかもしれませんが、
要は「便利なデジタル道具」のこと。

これらを使うことで、今まで時間がかかっていた作業が早く
終わったり、間違いが減ったり、新しいサービスを提供でき
るようになったりします。

また、「デジタル化基盤導入枠」と「通常枠」に分かれてお
り、導入するITツールによって補助率や上限額が変わりま
す。

最大のメリットは、**IT導入支援事業者が申請のお手伝いをして**
くれるので、IT知識が少なくても比較的取り組みやすいこ
とです。

さらに、枠（条件）にもよりますが、パソコン・タブレット
等の費用も補助してくれる場合もあるので、その点もメリッ
トですね。

-おすすめの理由-

採択率の高さ＋手続きが比較的に簡単なのが大きな理由！

さらに、対象業種も広いので、おすすめするのは
TOP1の「小規模事業者持続化補助金」ですが、補助金申請
の初心者の方なら「IT補助金」をおすすめします。

3位 業務改善助成金(※助成金)

受給しやすさ：★★★★☆

(要件を満たし、計画通り実施すれば受給しやすい)

※助成金のため審査はなく、要件を満たせば必ずもらえる

対象事業者：★★★★☆☆

(従業員を雇用し、事業場内最低賃金の引き上げを行う個人事業主を含む小規模事業者)

使える経費の幅：★★★★★

(生産性向上につながる設備投資、コンサルティングなど)

助成率・上限額：費用の3/4～4/5が助成

(賃上げ額や人数に応じて最大600万円)

手続き難易度：★★☆☆☆

(賃上げ計画と設備投資計画の連動が必要だが、申請手続きは比較的シンプル)

「会社で一番時給が低い人の給料(最低賃金)を上げるために、仕事をもっと効率よくするための機械や道具を買うお手伝い」をしてくれる助成金です。

※「助成金」なので、雇用のルールを守っている会社が対象

例えば、従業員の時給を30円以上アップさせる代わりに、レジ・機械・パソコンなど“仕事を楽にする設備”の費用を最大600万円までサポートしてくれます。

ポイントは「仕事の効率を良くする（生産性向上）」と、「給料をアップさせる（賃金引上げ）」をセットで行うこと。

例えば、

「もっと早く作業できる機械を買って、その分、社員さんのお給料を上げる」

「便利なレジシステムを入れて、お店の回転を良くして、パートさんの時給を上げる」

といった場合に、その機械やシステムの購入費用の一部を国がサポートしてくれます。

また、アルバイトやパートさんでも対象になるので（雇用保険未加入でもOK）その点も使いやすい助成金です。

ただし、注意点としては、あなたの地域の最低賃金から50円以内のスタッフさんが1人以上いる場合のみ利用できます。

（例えば、あなたの地域の最低賃金が1000円だとすると、スタッフさんの時給が1050円以内であることが条件）

-おすすめの理由-

アルバイトやパートさんが1人でもいれば使える汎用性の高さが理由。（雇用保険未加入でもOK）

さらに、要件も厳しくないのもあって、手続きが比較的に簡単で、使える経費の範囲が広いのもポイント！

4位 省エネルギー投資促進支援 事業費補助金（省エネ補助金）

採択率：★★★★☆

（省エネ効果が高い設備ほど有利）

対象業種：★★★★☆

（工場、店舗、オフィスなど設備がある事業者向け）

使える経費の幅：★★☆☆☆

（指定された省エネ設備導入に限定）

補助率・上限額：最大1/2（数百万円～数億円）

手続き難易度：★★★★☆

（専門知識や計算が必要な場合あり）

これは、「会社やお店で使っている電気やガスの量を減らすための、新しい機械（省エネ設備）を買うお手伝い」をしてくれる補助金です。

エアコンや照明を省エネ型に替えると**費用の最大1/2が戻ってくる**のが特徴です。

例えば、

「電気をたくさん使う古いエアコンを、最新の省エネエアコンに取り替える」

「お店やオフィスの電気を、明るくて電気代が安いLED照明にする」

「お湯を沸かす機械（ボイラー）を効率の良いものにする」

といった、「エネルギーの無駄遣いをなくす」ための投資を応援してくれます。

省エネ設備は買うときに少し高いことが多いですが、長い目で見ると電気代やガス代が安くなってお得になります。

この補助金の最大の特徴は上限の高さです。

数百万円～数億円の補助が受けられることもあります。

また、省エネ効果が高いほど優先的に採択される傾向があるので、古い設備を使っている事業者ほどメリットが大きいでしょう。

申請には省エネ効果の計算などの専門知識が必要で、設備メーカー等、専門家の協力が必要になることが多いです。

ただし、個人事業主でも使え、エアコンなど日常的に使われる設備の買い替えに使えますし、月の光熱費削減にもつながるため、長期的な経営改善に役立ちます。

※どんな設備でもOKというわけではなく、国が定めた基準を満たす必要があります。

-おすすめの理由-

エアコンやLED照明など、多くの事業所で共通して使われている設備の買い替えに利用できる汎用性の高さが理由です。
(ただし、手続きの難易度は少々高め)

5位 ものづくり補助金

採択率：★★☆☆☆

（革新性や事業計画の質が問われる）

対象業種：★★★★☆

（製造業だけでなく、サービス業や小売業などでも

「新しい取り組み」であれば対象）

使える経費の幅：★★★★☆

（新しい設備投資や試作品開発が中心）

補助率・上限額：最大1/2～2/3（最大1,000万円以上）

手続き難易度：★★★★★

（高度な事業計画が必要で、難易度高め）

ものづくり補助金は、新しい製品やサービスを開発したり、生産方法を革新的に改善したりする中小企業を応援する制度です。

例えば、

「世の中を驚かせるような新しい機械を発明するための試作品を作る」

「工場での作り方（生産ライン）をガラッと変えて、もっと速く、もっと安く、もっと高品質に作れるように最新の機械を導入する」

「新しい技術を使って、これまでにない便利なサービスを始める」

といった、「会社の未来を変えるような、大きな一歩」を踏み出すための投資をサポートします。

「ものづくり」という名前ですが、物を作る会社だけでなく、新しいサービスを生み出す会社も対象になります。

他の補助金に比べて、もらえる金額が大きいことが多いですが、その分、計画の「新しさ」や「すごさ」をしっかり説明する必要があり、申請の難易度は高めです。

まさに「会社の大きな挑戦」を後押しする補助金と言えます。

-おすすめの理由-

対象業種の広さと、補助率&上限額が高いのが理由です。

ただし、手続きは正直言ってかなり難しいため、気合いを入れて取り組む必要があります。

※次ページで補足の助成金/補助金について掲載しております



補足①

都道府県・地方自治体の助成金/補助金

採択率：★★★★☆ ～★★★★★

(採択率が高いものが多い)

対象業種：★★☆☆☆ ～★★★★★

(対象業種は色々だが、個人事業主を含む小規模事業者向けが比較的多い)

使える経費の幅：★★☆☆☆ ～★★★★★

(ここは本当に色々)

補助率：★★★★☆ ～★★★★★

(補助率が高いものが多い)

上限率：★★☆☆☆ ～★★★★☆

(逆に上限率はあまり高くない傾向)

手続き難易度：★★☆☆☆ ～★★★☆☆

(簡単に手続きできるものが多い)

発見難易度：★★★★☆ ～★★★★★

(見つけるのが難しい)

個人的に、1番おすすめしているのが、都道府県や地方自治体が独自に出している助成金や補助金です。

※県・市が独自に出している助成金や補助金。

(国・都道府県・地方自治体の合計3種類の助成金や補助金がある)

理由としては、**採択率が高く、手続き難易度が低い**ことです。

場合によっては、申込書を1~2枚書くだけでOKなものもあるので、ぜひご活用いただきたいと思っています。

ただし、問題としては、見つけるのが非常に難しいこと。

都道府県や地方自治体のホームページを見るのが基本ではありますが、それでも見つけにくいことも多いです。

ホームページの他にも、近くの商工会や生成AIなどを活用して、ぜひあなたの町の助成金・補助金を探してみましょう！

※メルマガ特典の動画の中で、都道府県や地方自治体が独自に出している助成金・補助金の探し方を解説しているので、ご覧いただければと思います。

-おすすめの理由-

採択率の高さ＋手続き難易度が低いことが大きな理由です。初心者の方がまず最初に取り組むべき（もしくはIT導入補助金）と言えるものなので、ぜひ探してみてください。



補足② 新事業進出補助金

採択率： ★☆☆☆☆

(採択率は20%切ることもあり、かなり難しい)

対象業種： ★★★★★

(既存の事業からの大きな転換や挑戦を行う事業者向け)

使える経費の幅： ★★★★★

(経費の範囲はとにかく広く、自由度は補助金随一)

補助率・上限額： 1/2 (数千万円～1億円超も)

手続き難易度： ★★★★★

(最難関クラス)

※先に結論を言うと、“おすすめしない”補助金です！

事業再構築補助金が名前を変えて、2025年に登場したのがこの新事業進出補助金になります。

これは、「今やっているビジネスとは違う、まったく新しい分野のビジネスにチャレンジする会社を、大きく応援」してくれる補助金です。

例えば、

「ずっとラーメン屋さんをやってきたけど、新しく冷凍ラーメンを作ってインターネットで全国に売る事業を始めた！」

「洋服を売っていたお店が、洋服作りの技術を活かして、オリジナルのキャンプ用品を作る会社に生まれ変わりたい！」

といった、会社にとっての「大きな方向転換」や「新しい冒険」をサポートします。

新しい事業を始めるためには、特別な機械を買ったり、新しいお店や工場を準備したり、たくさんの人に知ってもらうための広告を出したりと、とてもお金がかかります。

この補助金は、そういった「新しいチャレンジに必要な大きな資金」の一部を国や自治体が支援してくれる制度です。

他の補助金に比べて、もらえる金額がとても大きく対象業種も広いのが特徴ですが、その分、「なぜ新しい事業が必要なのか」「どうやって成功させるのか」といった計画を、ものすごく具体的に、説得力をもって説明する必要があります。

準備がとにかく大変で、採択率も低いので、僕はおすすめしていません。

※新事業進出補助金についての質問がたまにあるので、補足2として掲載させていただきました。

いくつか助成金・補助金を紹介させていただきましたが、参考になれば嬉しく思います。